

科目名	中国語5a A (遠隔授業)	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	區 建英		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320237	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	<p>一定の学習経験（留学経験も含む）を踏まえて、中国事情を題材に中国語を学ぶ。すでに身に付いている単語、語法、作文、会話の能力を基礎として、中国の社会、民俗、文化に関する小作品を正しく読解し、文の構成規則を学習し、地道の言葉表現を覚えて活用する。これによって、文化的背景の知識を増やし、中国語で異文化交流を行う能力を高めるよう、指導する。</p> <p>なお、今はコロナウィルス感染がまだ収まっておらず、担当教員としての私は大病に罹って免疫力が低下しているので、お互いの安全安心のために、今学期の15回授業を全部オンラインで実施します。ご理解ご協力ください。</p>				
学修到達目標	オリジナルの中国語に近づき、現地の社会・文化に関する様々な事象について中国語を活用し、より豊富かつ知的な内容で交流・協力する能力が高まる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	中国語の句法知識
第2回	大学生の週末
第3回	飲食習慣

第4回	北京の交通
第5回	句法知識の活用
第6回	数字の感覚
第7回	大学生のアルバイト
第8回	寮生活の良さ
第9回	句法知識の活用
第10回	値段交渉
第11回	礼物を送る習俗
第12回	中国式の結婚
第13回	夫婦共働きの家庭

第14回	お互いの称呼
第15回	理想的な職業
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。予定の学習内容について単語、本文、文法を含めて予習する。
【復習】時間・内容	1時間。授業で学んだ句法への理解を深め、文化習俗の事象に関する地道の表現を復習し、重点部分の朗読と暗誦を繰り返し練習する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数（60%）、毎回の授業での作文と会話（30%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	授業中の作文や句法分析に対して講評し、また定期試験あるいは課題レポートの成果や問題点を総括して後に説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート
教科書/参考書	教科書： 吉田泰謙等編『知っておきたい中国事情』白水社 参考書： 各種の中国語辞書
受講上の留意点等	中日・日中の電子辞書あるいは大きめの辞書を必ず持参すること。 積極的に句法分析に挑戦し、活発に中国語会話すること。
JABEE	

科目名	中国語5a B	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	姜 杰裕	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320237	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	<p>今まで学習した内容を基礎にして、中国語の複文を学び続け、それを理解し運用する方法を身に付け、語彙の量をさらに増やし、場面応用の会話能力を高めると同時に日常生活及び大学生活の中で自分の言いたいことを文章に表現できるように中国語運用能力を高めていく。</p> <p>DVDなどの資料を通じて中国の文化を紹介し、中国語への理解と高度な応用に役立てたい。</p>				
学修到達目標	<p>テキストに出てきた旅行、買い物、病院、両替、料理の注文などの場面での会話が自然にできるようにグループに分けて練習し、コミュニケーション能力を高めていく。基礎文法をしっかり運用できる上に複文の文法を理解でき、その上に自分の考えを文章にまとめられるように作文能力を付けていく。中国語検定3級、HSK4級合格レベルに達する。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	休み間の出来事の発表・基礎文法の復習・確認
第2回	第七課 新出単語・文法解説 応用練習
第3回	第七課 本文解説・ドリル答え合わせ・会話練習

第4回	第八課 新出単語・文法解説・本文解説
第5回	第八課 文法応用練習、ドリル答え合わせ・会話練習
第6回	第九課 新出単語・文法解説・本文解説
第7回	第九課 文法の応用練習・ドリル・作文
第8回	第十課 文法解説・応用練習
第9回	第十課 本文解説・ドリル答え合わせ・会話練習
第10回	作文一 買い物方法について話し合い、作文する。
第11回	第十一課 文法解説・本文読解
第12回	第十一課 文法まとめ・ドリル答え合わせ・会話練習
第13回	第十二課 新出単語・文法解説 応用練習

第14回	第十二課 本文を解説・ドリルの答え合わせ・会話練習
第15回	総復習、質疑応答
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	単語の量が多い為、事前に必ず予習しておく。習った文法・語彙を使って積極的に質問したりコミュニケーション能力を高めるためにグループワークで練習するので、事前に質問を考え用意して置く。テキストの練習問題も配ったプリントも真面目に解き、問題を解決する。自分で解決できない場合は次の授業の時に教員或いは同級生に聞き、解説する。予習する時間4時間以上。
【復習】時間・内容	習った単語は必ずCDを聞きながら発音が正しくできるようにする。本文も同じくCDを聴き、正しく尚且つ流暢に読めるようにする。練習問題とプリント練習により文法の理解度を確認し、問題点を解決する。作文について訂正されたところを確認し理解する。日常生活の中で意識的に中国語を使い、毎日中国語に触れるよう工夫をする。復習時間4時間以上。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験40%、小テスト(20%)、宿題(20%)、授業参加意欲(20%)、合わせて期末成績を評価する。
フィードバック方法	練習問題については毎回答え合わせと質疑応答をする。小テストについてはその場で答え合わせ、解説する。試験については試験後に模範解答、講評をする。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	「温故知新！中国語Ⅱ」 虞萍 著 朝日出版社 2200円
受講上の留意点等	<p>単語量も文法量も多くなり予習復習をしっかりする。毎日中国語の音読を習慣化する（CDを聴き発音を確認する）。会話練習は授業の都度実施するので、積極的に参加する。日常生活の中で友人と中国語を使ってみる。特に習ったばかりの文法や単語を意識的に使ってみる。小テストや練習プリントなどで指摘され問題点を正しく応用できるようになるまで復習する。自分で書いたものは必ず声を出して言えるようにする。</p> <p>※事情により授業の予定が変更する場合もある。</p>
JABEE	